

# 12月 給食だより



令和5年 12月  
池田市立学校給食センター

早いもので、今年も残すところあと1か月です。もうすぐで冬休みですね。クリスマス、お正月など年末の楽しい行事がある一方で、生活リズムが崩れやすくなります。規則正しい生活を心がけて、毎日を元気に過ごしましょう。

## 細河大根ができるまで

池田市の細河地域で育った「細河大根」が11月から給食に登場しています。細河大根は、池田市の細河地域の方々が生産している地場産物です。



8月中旬 「土の準備」  
肥料などをまいてトラクターで耕します。



8月下旬 「畝づくりとマルチ(黒いシート)かけ」 畝(うね)



9月11日「種まき」  
ほそごう学園と五月丘小学校の3年生が種を3粒ずつまきました。



9月29日 「土寄せ、間引き」  
土寄せ…茎が折れないように土を寄せます。  
間引き…栄養を与えて、より成長させるために葉を3本から1本にします。



10月中旬 すくすくと育っています。



11月下旬 「収穫」 葉が倒れたら収穫の合図です。

## ～農家さんへの質問～



細河地域の方々

アンケートの中から「農家さんに聞きたいこと、伝えたいことはありますか？」の項目において、農家さんから返事をいただきました。

Q.「どのような気持ちで育てていますか？」  
A. 収穫の時の子どもたちの笑顔を楽しみに育てています。

Q.「水はどのくらい使っていますか？」  
A. 天気にもよりますが、1回の水やりで2000～3000ℓほどの水を使います。

Q.「毎年何本の細河大根を作っていますか？」  
A. 平均800本

Q.「一番大変な作業は何ですか？」  
A. 畝づくり

Q.「肥料は何ですか？」  
A. 鶏糞(けいふん)、有機石灰、バークたい肥(植物からできた肥料)

Q.「一番大きい細河大根はどれくらいですか？」  
A. 重さは3kg、長さは1mぐらいです。

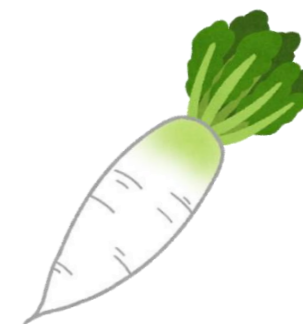
Q.「猛暑が続きましたが、大根に影響はありましたか？」  
A. 暑さの影響で、種まきが遅れました。

Q.「なぜ細河大根を育てようと思ったのですか？」  
A. 地域活性化(細河地域を盛り上げる)のためです。

Q.「大根を作っていて、一番困ったことは何ですか？」  
A. 天気や温度に左右されること。虫が多いこと。大根がうまく育たなくなります。

## 大根の栄養

大根はすべて食べることでできる食材です。特に、大根の葉はビタミン類、カルシウムや鉄、葉酸などが多く含まれており、捨ててしまうのはもったいないです。また、大根にはアミラーゼ、プロテアーゼ、リパーゼなどの消化酵素が含まれており、消化を助ける働きがあります。



今月の細河大根を使用したメニューは、5日(火)、12日(火)に登場します。対象校に実施したアンケートの集計結果から決定したメニューをお知らせします。食缶では、「細河大根の豚汁」、小バットでは、「豚肉と細河大根の角煮」が1位に輝きました。当日の給食を楽しみにしていただきね！

